

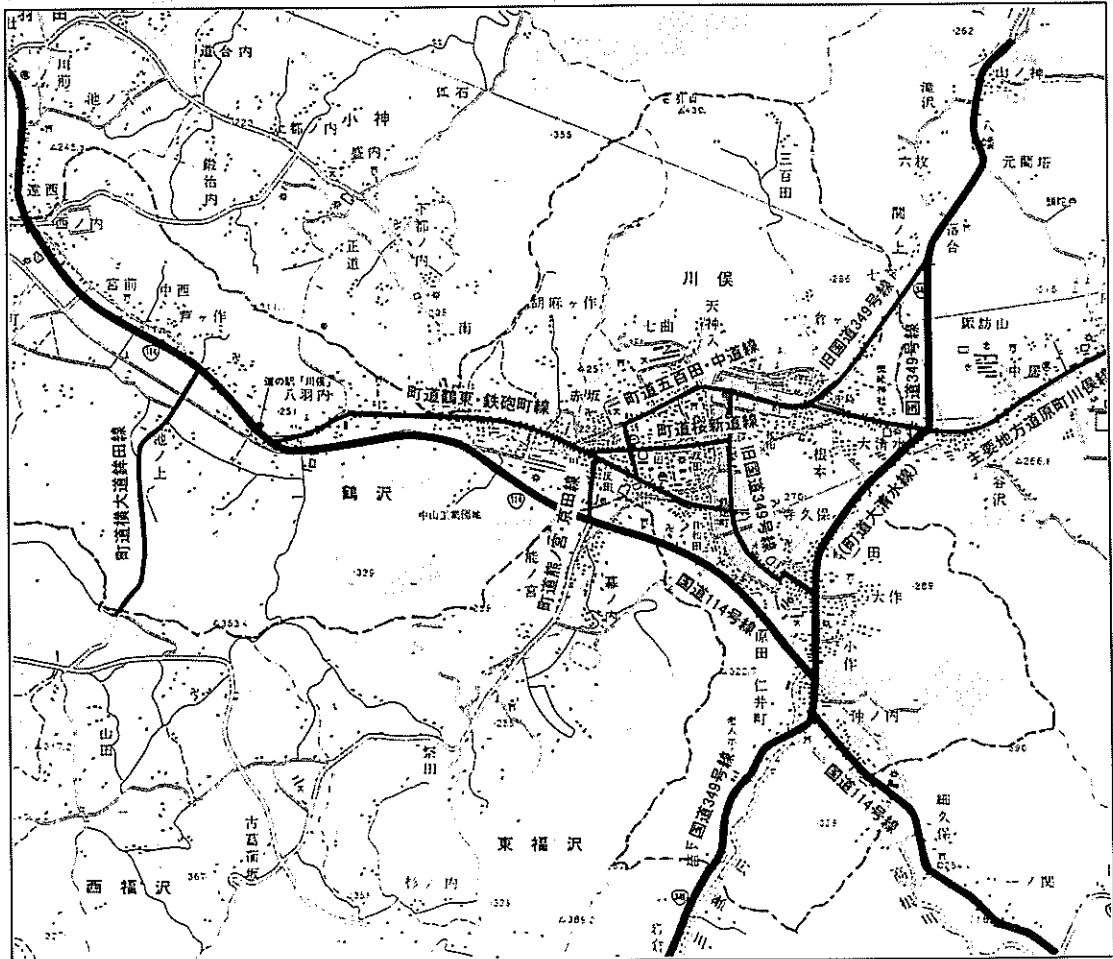
### (3) 道路・交通環境の状況

#### ① 道路について

川俣町中心部の主な道路は、下表に挙げる10路線です。町内を通る2本の国道については、平成7年に国道114号線のバイパスが開通したのを始め、国道349号線についても平成10年度内を目処に町道大清水線が国道に格上げになりバイパスとして機能する等、道路網に大きな変化がみられます。

名称	区間	延長距離
①国道114号線	大字羽田字残茂内～山木屋字境林山	23,973m
②国道349号線	大字小島字北成沢～大綱木上境木	12,692m
③町道五百田中道線	五百田～中丁	795.9m
④町道大清水線	大作～飯坂字中道 (国道349号線へ格上予定)	977.6m
⑤町道横大道鉾田線	大字鶴沢字社前～西福沢字念佛石山	3,569.9m
⑥町道桜新道線	大字鶴沢字川端～瓦町	661.1m
⑦町道鶴東・鉄砲町線	大字鶴沢字鶴東～鉄砲町	1,302.5m
⑧町道熊ノ宮・京田線	大字東福沢字熊ノ宮～大字鶴沢字京田	261.7m
⑨旧国道349号線	飯坂字壁沢～川俣町字新中町	2,333.0m
⑩主要地方道原町川俣線	川俣町字中島～飯坂字水境	5,523.0m

主要道路の概要

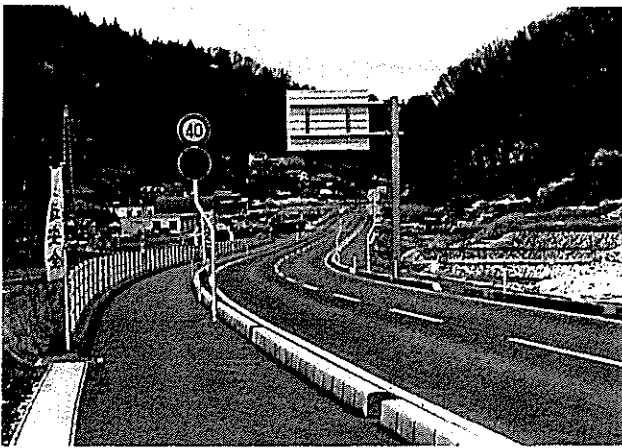


主要道路位置図

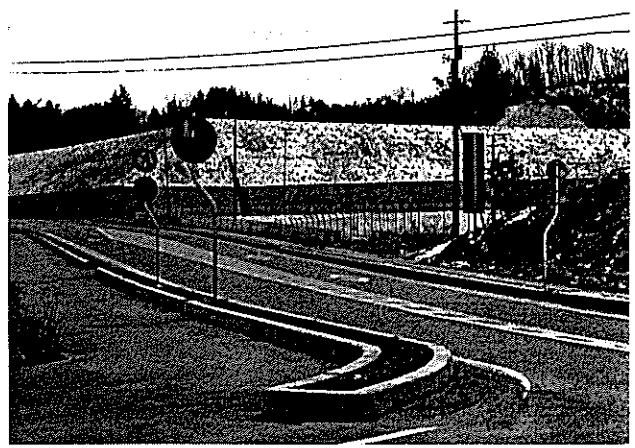
## <道路調査結果>

町内10路線を調査したところ、段差が解消されていて、車いすでの通行が可能であると評価された道路は、国道114号線と国道349号線の2路線のみでした。両国道は道路幅が広く、縁石や植樹帯で分離された歩道があり、歩道面も比較的平坦になっています。

その他の道路については凸凹した路面や狭小な歩道の幅員、側溝の蓋がなく危険な箇所等があり、車いすでの安全な通行は困難であると判断しました。



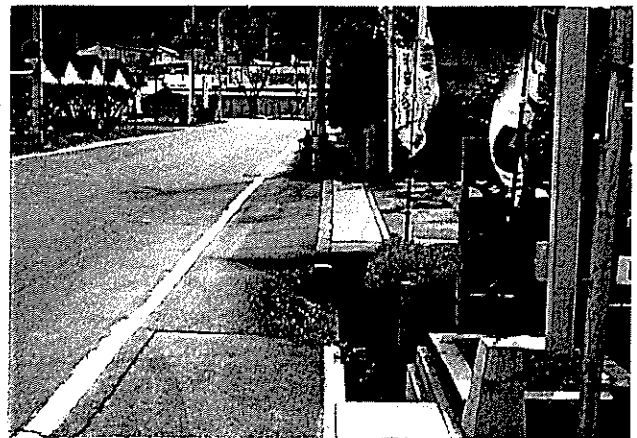
車いすでの通行が可能とされる国道 349 号線



車いすでの通行が可能とされる国道 114 号線バイパス  
車道と歩道との境に植樹帯が設けられている



歩道の半分以上が側溝の蓋であり、路面が凸凹していたり蓋の穴があるため、転倒する恐れがあり危険である



側溝に蓋がない箇所は子供や弱視者が落ちる危険がある

川俣町中心部には、変則的な交差点やクランクが何箇所もあり、左右の見通しが悪く危険であり、過去に交通事故が発生しています。

歩行者の安全を確保するための横断歩道は、交通量の多い路線でも歩行者用信号機のない箇所が数箇所あります。また町内には視覚障害者用音響式信号機が設置されている箇所はありません。

今後は公共施設周辺やふれあい福祉ゾーン整備にあわせて、十分な幅員の歩道を確保することはもちろん、音響式信号機のある横断歩道の整備等を進めていく必要があります。

より安全な移動環境への整備として、道路改善等が必要ですが、整備に長期間を要するため、町なかの安全性を高める早急策として町民や運転者への安全教育等を徹底し、対応することが望まれます。



鶴東・鉄砲町線と熊ノ宮・京田線との交差点は、左右の見通しが悪く危険である



変則的な交差点で、見通しも悪く、過去に事故があった歩行者用信号機のある横断歩道が設けられているが、複雑で、歩行路面も凸凹している



国道 349 号線の信号機のない横断歩道(中央公園入口付近)



旧国道 114 号線である鶴東・鉄砲町線の歩道は、電柱や支柱等が林立して狭いため歩行者が車道側を歩く光景がみられる